

# 心理学

心理学Ⅰ	P-01-12-L
心理学Ⅱ	P-01-13-L
心理学実習	P-01-22-T

## 教員名

教養・医学教育大講座 心理学 准教授 石井 拓  
非常勤講師 恒松 伸

## I 授業の目的

心理学Ⅰと心理学Ⅱの講義では、行動科学の中核にある心理学の基礎を学ぶことにより、医療で重視される全人的な視点を身につける上で心理学の知識が不可欠であることを理解する。また、心理学から生まれた認知行動療法などの心理療法、行動経済学、質問紙法や面接法などの心理学的アセスメント技法、コミュニケーション技術などに関する知識が行動医学としてどのように活用されているかを学ぶ。

心理学実習では、心理学・行動科学の基本的な研究方法論を体得するとともに、適切な研究遂行の遂行を学び、心理学的アセスメントやコミュニケーションの体験を通じて自己理解・他者理解を深める。

## II 到達目標

### 心理学Ⅰ

1. 心理学、行動科学、行動医学の関係について概説できる。
2. 臨床心理学が活用される場面を列挙できる。
3. 心理療法の種類を述べ、それらについて概説できる。
4. 性格・パーソナリティの基礎的理論を概説できる。
5. 性格・パーソナリティと健康との関係を概説できる。
6. 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見を例示できる。
7. 言語的および非言語的コミュニケーションを説明し、文化による違いを例示できる。
8. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。
9. 他者の存在や集団規範が個人の行動に及ぼす影響を概説できる。
10. 心理学的にみた人の発達の特徴について概説できる。
11. 小児期の愛着形成やその影響について概説できる。
12. 学童期、思春期と関連する課題について概説できる。
13. 生涯発達の考え方を説明できる。

### 心理学Ⅱ

1. 心理検査・質問紙の作成方法の基礎を理解し、それらの有用性を評価するための概念を説明できる。
2. 知能やパーソナリティの測定法について概説できる。
3. 行動遺伝学の知見とその限界について説明できる。
4. 知能の発達と経年変化を概説できる。
5. 感覚・知覚のシステム、および感覚の基本的な測定方法を概説できる。
6. 記憶の種類と仕組みを概説できる。
7. 人が陥りがちな推論の誤り、認知バイアスについて概説できる。
8. 医療場面での意思決定に対する行動経済学の活用について概説できる。
9. 本能的行動の種類を列挙するとともに、馴化・鋭敏化について説明できる。
10. レスポンデント条件づけの基礎、および行動療法への応用について説明できる。
11. オペラント条件づけの基礎、および応用行動分析学としての活用について説明できる。
12. 刺激統制の基礎と、行動変容のための応用について説明できる。
13. 言語行動の基礎理論から、言葉の意味について説明できる。
14. 健康行動を促進するための学習理論の活用について説明できる。

### 心理学実習

1. 心理学・行動科学の手法を使った研究を立案、実施できる。
2. 実験・検査結果に基づいて推測し、議論を展開できる。
3. 科学論文の書き方にそって、実験・検査結果をレポートにまとめることができる。
4. 実験・検査を通じて自己理解・他者理解を深める。
5. 対人理解やコミュニケーションの技法を実践的に活用できる。

### III 講義項目と担当者

- 心理学Ⅰ（Ⅰ期） 担当者 石井 拓
- 心理学Ⅱ（Ⅱ期） 担当者 石井 拓
- 心理学実習（Ⅱ期） 担当者 石井 拓・恒松 伸

### IV テキストおよび参考書

#### 教科書

- 心理学Ⅰ、Ⅱ：サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学・入門 [改訂版] — 心理学はこんなに面白い』有斐閣アルマ
- 心理学実習：板口典弘・山本健太郎『ステップアップ心理学シリーズ 心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで』講談社

#### 参考書

- 日本行動医学会（編）『行動医学テキスト 第2版』中外医学社

### V 評価方法

- 心理学Ⅰ・Ⅱ  
各学期末に実施する筆記試験を90%、授業内の課題実施と発表状況を10%の割合で加味して評価する。
- 心理学実習  
各テーマで課すレポートの評価を80%、各回の実習課題での取り組みを20%の割合で加味して評価する。

### VI オフィスアワー

- 教養・医学教育大講座（心理学） 月曜日 16:30～17:30  
【連絡方法】 tishii★wakayama-med.ac.jp（担当：石井拓）  
【実施場所】 医学部三葛教育棟3階 心理学教員室（担当：石井拓）

卒業時 シラバス	1 基盤的 資質				2 医師 としての 基本的 資質				3 コミュ ニケーシ ョン能力				4 医学的知識								5 医学の実践								6 医学的(科学 的)探究				7 社会 貢献												
	問題 解決 型能力	情報 技術	語学 能力	社会 人として の一般 教養	倫理 観	チーム 医療	自己 啓発	人間 関係の 構築	情報 交換	他者 への思 いやり	細胞の 構造と 機能	人体の 構造と 機能	人体の 発達、 成長、 加齢、 死	疾病の 機序と 病態	検査・ 画像診 断技術	基本 的診察 知識	疾病 の診断 ・治療 方法	EBM の利用	生物統 計、疫 学	行動科 学・医 療経済	法令、 研究倫 理	患者 専断	基本 的臨床 技能	臨床推 論・検 査所見 ・画像 診断	診療録 作成	治療 選択	救急医 療	緩和・ 終末期 ・看取 りの医 療	介護と 在宅医 療	患者 説明	医療安 全・感 染予防	予防医 学	副作 用・薬 害	アレン ゼーシ ョン技 能	和歌山 県医療	保健制 度	基礎 医学研 究	臨床 医学研 究	社会 医学研 究	研究成 果の公 表	研究倫 理の実 践	地域 貢献	福祉 活動	ボラン ティア 活動	
心理学 Ⅰ	E	E	F	C	D	F	C	E	E	E	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F
心理学 Ⅱ	E	E	F	C	F	F	C	E	E	E	F	F	C	F	F	F	D	F	C	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F	
心理学 実習	C	C	F	C	E	F	C	C	C	C	F	F	F	F	F	F	D	F	C	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F	F	F	F	C	C	F	F	F		

## 講義日程表(心理学Ⅰ)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.4.11	(金)	3	心理学とは？—行動科学の基礎	心理学教室	石井
2	R7.4.25	(金)	3	精神障害と臨床心理学	心理学教室	石井
3	R7.5.2	(金)	3	行動療法、認知行動療法、その他の心理療法	心理学教室	石井
4	R7.5.9	(金)	3	性格と個人差	心理学教室	石井
5	R7.5.16	(金)	3	性格・行動パターンと健康	心理学教室	石井
6	R7.5.23	(金)	3	他者認知と対人行動	心理学教室	石井
7	R7.5.30	(金)	3	コミュニケーション・傾聴・説得	心理学教室	石井
8	R7.6.6	(金)	3	行動への社会的影響	心理学教室	石井
9	R7.6.13	(金)	3	人の発達の捉え方	心理学教室	石井
10	R7.6.20	(金)	3	乳幼児期から児童期までの発達	心理学教室	石井
11	R7.6.27	(金)	3	愛着の形成とその影響	心理学教室	石井
12	R7.7.4	(金)	3	思春期、青年期の発達	心理学教室	石井
13	R7.7.11	(金)	3	成人期、高齢期の発達	心理学教室	石井
14	R7.7.18	(金)	3	筆記試験	心理学教室	石井

## 講義日程表(心理学Ⅱ)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.9.1	(月)	2	心理学的アセスメントの基礎	心理学教室	石井
2	R7.9.8	(月)	2	知能・パーソナリティの測定法	心理学教室	石井
3	R7.9.22	(月)	2	行動遺伝学:行動への遺伝と環境の影響	心理学教室	石井
4	R7.9.29	(月)	2	知能の発達と経年変化	心理学教室	石井
5	R7.10.6	(月)	2	精神物理学的測定法と感覚・知覚	心理学教室	石井
6	R7.10.20	(月)	2	記憶の仕組み	心理学教室	石井
7	R7.10.27	(月)	3	認知バイアス・ヒューマンエラー・行動経済学	心理学教室	石井
8	R7.10.30	(木)	2	本能的行動・馴化・鋭敏化	心理学教室	石井
9	R7.11.10	(月)	2	レスポナント条件づけの基礎と行動療法	心理学教室	石井
10	R7.11.17	(月)	2	オペラント条件づけの基礎と応用行動分析学	心理学教室	石井
11	R7.12.1	(月)	2	刺激統制の基礎と行動変容への応用	心理学教室	石井
12	R7.12.8	(月)	2	言語行動の基礎理論と応用	心理学教室	石井
13	R7.12.15	(月)	2	学習理論と健康行動	心理学教室	石井
14	R7.12.22	(月)	2	筆記試験	心理学教室	石井

## 講義日程表(心理学実習)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.9.5	(金)	3,4,5	ガイダンス	心理学教室	石井・恒松
2	R7.9.12	(金)	3,4,5	以下の各テーマについて隔週で実習に取り組む (ただし履修者の人数によって調整する場合がある) <ul style="list-style-type: none"> <li>・幾何学的錯視</li> <li>・心理物理学的測定</li> <li>・学習・記憶実験</li> <li>・質問紙法(パーソナリティの測定)</li> <li>・カウンセリング場面の行動観察</li> <li>・積極的傾聴</li> </ul>	心理学教室	石井・恒松
3	R7.9.19	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
4	R7.9.26	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
5	R7.10.3	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
6	R7.10.10	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
7	R7.10.24	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
8	R7.10.31	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
9	R7.11.7	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
10	R7.11.14	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
11	R7.11.21	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
12	R7.11.28	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
13	R7.12.5	(金)	3,4,5		心理学教室	石井・恒松
14	R7.12.12	(金)	3,4,5		予備日	心理学教室